

日本神話：神々の誕生

居住する用意が整ったところで、イザナミは自然の要素を司る様々な神々を生み、彼らは8つ神々の島に住みました。その中には、風の神、水の神、木の神、山の神、野の神などの神々のほか、様々な家宅の神々やその他の精霊が含まれていました。彼らは国中に広がり、さらに多くの神々を生み出しました。しかし、イザナミは火の神を生む際に、大火傷を負ってしまいます。彼女がもがき苦しむうちに、その体液から鉾山の神、土の神、農耕の神などの神々が現れました。合わせて14の島と35柱の神々を生んだイザナミは、その傷が元で命を落としてしまいます。